

全神奈川ろう社会人軟式野球連盟への加入

全神奈川ろう社会人軟式野球連盟の大会、全日本ろう社会人軟式野球選手権に出場するには、連盟に加入する必要があります。

加入すると上部団体である全日本ろう社会人軟式野球連盟、に参加することができます。

全神奈川ろう社会人軟式野球連盟加入基準

1. 加入条件等

(1) チーム構成の定義

加盟申請のできるチームは、聴覚障がい者手帳携帯に国内在住・在勤・在学する高校年齢層以上の者(16歳以上で性別は問わない)で構成された次のいずれかに該当するチームとする。

ただし、職業野球競技者および他の団体に登録されている者は、加盟できない。

① クラブチーム(地域チーム)

ア. 国内に在住、在勤する者で構成しているチーム。

イ. 国内に居住または在学する学生で学生野球組織等に所属していない者は、クラブチームに所属することができる。

ウ. クラブチームは、チーム名に地域名を付けること。

② 学生チーム

ア. 市内に所在する学校等に所属する学生野球組織等に所属していない者で編成しているチーム。

イ. 全軟連が認めていない野球組織等に所属できない。

ウ. 学校単位で編成する学生チームは、学校名の後に「クラブ」をつける。

③ チーム名称はおおむね 12 文字以内とする。

(2) 加入方法

① 所定の様式で申請を行い加盟審査会(1月/年1回)を経て理事会で審査し承認された場合、加盟が認められる。

(3) 加盟申請

① 加盟申請を希望するチームは、加盟申請書に登録票を添付し、指定する日までに指定する場所へ申請すること。

② **選手登録人員は 10 名以上 25 名以内**とし、全軟連登録の他チームに所属していないこと。

③ チーム代表者は、国内に在住・在勤する成人で既婚者とする。

④ チーム所在地は、国内であること。

⑤ チーム構成のうち、60歳以上の場合は、シルバー級の登録となる。

⑥ 背番号は0番から99番とし監督は30番、主将は10番とする。

⑦ 加盟承認後登録申請を行うチームは、登録人員全員が傷害保険に必ず加入していること。

2. ユニフォーム等

(1) 同一チームの各プレーヤーは、同色、同型、同意匠のユニフォームを着用すること。

(アマチュアであるので、派手な色彩は自粛すること)

(2) 胸マークは日本字または、ローマ字とし、常識的な斜めまで認める。

(3) ユニホームの袖の長さは両袖同一とし、左袖には全国大会出場時に日本字または、ローマ字で神奈川を付けるため、他のマーク等を付けてはならない。ただし、右袖には、社章、商標、常識的なクラブのマスコット等をつけても差し支えない。

(4) 首衿をつける場合は、2 cm 以下とする。

(5) 背番号規格は、最小限 15.2 cm 以上、最大限長さ 21 cm、幅 16 cm、太さ 4 cm 以内とする。

(6) 背中に選手名をつける場合は、背番号の上にローマ字で姓のみとする。ただし、同姓の者がいる場合には、名前の頭文字を入れても良い。

(7) 胸番号、腰番号は常識的な大きさは認める。

(8) ズボンのラインは3色までで、幅は3~4 cm くらいとする。

(9) 帽子の色は3色まで、マークの幅は15 cm、高さは7 cm 以内とする。マークの色は、帽子の色を含めて4色までとする。日本字または、ローマ字とし常識的な斜めまで認める。

- ただし、社章、商標の登録をしていればマークとしての使用を認める。
- (10) スパイクの色、デザインなどは自由としチーム内での統一は不要とする。
ハイカットのスパイクシューズの使用を認める。
- (11) アンダーシャツは、全員同色のものでなければならない。
- (12) 会社の商標、商品マークを認めるがつけるところは限定される。

全日本軟式野球連盟規定細則抜粋

1. 袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字またはローマ字による都道府県名を必ず付けなければならない。(注: 県代表チームの義務づけ) また、ほかのものを付けてはならない。
2. ストッキングは、全員同色のものでなければならない。

3. 用具

(1) バット

- ・木製バット、接合バット、カーボンバットは認める。ただし、金属／ハイコン(複合)バットは、JSBBのマークをつけた公認のものに限る。
- ・着色バットは木製、接合とも木目の見える程度の塗装とする。
- ・金属・ハイコンバットの色の制限はないが、単色以外の場合は連盟の承認が必要。
- ・マスコットバットを次打者席に持ち込むことは差し支えないが、プレイの状況に注意し、適切な処置をすること。
- ・競技場内での素振り用パイプ、リングの使用は禁止する。

(2) グラブ

- ・グラブの色は投手以外制限なし。

(3) マスク

- ・連盟公認のもの以外は使用できない。

(4) レガース・プロテクター

- ・捕手はレガースとプロテクターを着用すること。

(5) ヘルメット

- ・打者、次打者及び走者、ランナーズコーチはヘルメットを着用すること。
- ・捕手は、捕手用ヘルメットを着用すること。
- ・打者用ヘルメットを7個用意すること。

(6) 手袋、汗取りサポーターの使用は認める。ただし、投手が手首にリストバンド、サポーター等を使用することを禁止する。

(7) サングラスの着用

サングラスは着用する以外、身につけることは認めない。(サングラスの反射「ミラー系」物の使用を認める)

(8) その他

- ・試合規則、グラウンドルール等は、大会ごとに作成する競技運営に関する注意事項および関連する規則による。

4. その他

- (1) その他は全軟連規則、全日本ろう社会人軟式野球連盟および全神奈川ろう社会人軟式野球連盟会則による。

(2) 問い合わせメールアドレス: info@kdbl-deaf1986.org

(3) 全神奈川ろう社会人軟式野球連盟 ホームページアドレス: <https://kdbl-deaf1986.org>